

平成29年度 第1回 小平市地域公共交通会議

1 日 時

平成30年2月8日(木) 15時00分から15時50分まで

2 場 所

小平市役所6階 大会議室

3 出席者

小平市地域公共交通会議委員 14人
事務局(都市開発部 公共交通課) 3人
(傍聴者 2人)

4 会議次第

- 1 開会
- 2 「バスとタクシーのひろば in 小平」の開催について
- 3 小平市コミュニティタクシー(大沼ルート及び鈴木町ルート)運行会社の事業分割に伴う変更について
- 4 小平市コミュニティバス、コミュニティタクシーの利用状況について
- 5 小平市コミュニティタクシー大沼ルートの停留所移設について
- 6 小平市コミュニティタクシーを考える会の報告
 - ・小平市コミュニティタクシー大沼ルートの停留所新設及びルート変更について
 - ・小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会の進捗状況について
- 7 その他
- 8 閉会

5 配布資料

- ・「バスとタクシーのひろば in 小平 2017」実施報告(資料1)
- ・「バスとタクシーのひろば in 小平 2018」の開催について(資料2)
- ・小平市コミュニティタクシー(大沼ルート及び鈴木町ルート)運行会社の事業分割に伴う変更について(資料3)
- ・小平市コミュニティバス、コミュニティタクシーの利用状況について(資料4)
- ・小平市コミュニティタクシー大沼ルートの停留所移設について(資料5)
- ・小平市コミュニティタクシー大沼ルートの停留所新設及びルート変更について(資料6)
- ・鷹の台駅西側ルート案(資料7)
- ・上水本町ルート案(資料8)

6 会議内容

都市開発部長の挨拶、出席委員及び資料の確認、会長を互選、傍聴者への対応

会長

それでは、平成29年度 第1回 小平市地域公共交通会議を始めます。
協議事項といたしまして、「バスとタクシーのひろば in 小平」の開催について、事務局より説明をお願いします。

事務局

まず、昨年5月13日にブリヂストンTODAY駐車場で開催されました「バスとタクシーのひろば in 小平 2017」についてご報告いたします。

それでは、資料1をご覧ください。このイベントは、バスやタクシーなどの公共交通をPRするイベントとして平成26年から始まり、今回で4回目の開催となりました。本日、ご出席の事業者の皆様をはじめ、鈴木会長にも企画、準備から当日までご協力いただきました。誠にありがとうございました。

今回は4回目にして初めて雨天での開催となりました。かなりの雨であったため、残念ながら、イベントのうち「バスと綱引き」、「キャラクターと遊ぼう」、「コミタクにお絵かき」は中止せざるを得なくなりました。来場者は、雨天のため、前年に比べると大きく減ってしまいましたが、熱心なバスファンの方々を中心に約900の方々にご来場いただき、楽しんでいただきました。

会場のイベントの様子は、資料2枚目以降の写真をご覧ください。各バス会社、タクシー会社やNPOバス保存会のご協力のもと、バス7台、タクシー5台を展示いたしました。今年のボンネットバスは、NHKの朝ドラ「ひよっこ」でもヒロインの地元のバスとして活躍していましたボンネットバスを展示いたしました。また、例年バルーンアートでご参加いただいております新東京自動車教習所さんから二輪と四輪各1台教習車を展示していただきました。いつもよりお客さんが少なかったため、お客さんには、いつもよりゆっくりバスやタクシーの中を見ていただくことができました。また、車両撮影もいつもよりお客さんが少なかったため、皆さま思いの場所でじっくり写真を撮っていらっしゃいました。また、鈴木会長にお願いし、バスの乗り方教室も実施いたしました。乗り方教室は、ご家族で参加された方が多く見受けられました。「こだ健体操教室」は、健康推進課の協力のもと行いました。こだ健体操とは、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の予防に効果的な体操として作られたもので、コミュニティバスのにじバスにこだ健体操のPRのラッピングをしている関係で、実施いたしました。「鉄道模型ジオラマ展示・体験運転会」は、雨天のため、ジオラマをブリヂストンTODAYの中に展示させていただきました。ジオラマを見るだけでなく、お子様たちにも運転を体験していただきました。また、今回は会場であります株式会社ブリヂストンさんにもイベントにご参加いただきました。エコタイヤや航空機タイヤの展示をしていただき、ブリヂストン小平生活協同組合さんには、飲み物の販売をしていただきました。

また、「プレゼント付きアンケート」により、ご来場者の方々からのご意見、ご感想を集めました。この「プレゼント付きアンケート」の実施にあたりましては、事業者の皆様からプレゼント用のグッズを多数ご提供いただきました。ありがとうございました。

今回は入場者が少なかったため、例年よりアンケートの回収件数は少なく288件ですが、回収率は64%となりました。

アンケートの結果は、資料1の3枚目以降の集計結果をご覧ください。

1番目の質問では、満足度に回答して頂きましたが、大変満足40.6%と満足48.6%と約90%の方が、このイベントに対して満足されていたことが分かります。4番目の質問では、年齢に回答して頂きましたが、小学生以下が27.8%、30歳代から40歳代が46.5%と多くなっております。この数字から見て、雨天ではありましたが、お子様連れのご家族も多く来てくださったことがわかるかと思えます。お子様が多いのには、このイベントのPRチラシを市内の幼稚園、保育園、小学校の生徒全員に配っている効果がでているかと思えます。5番目の質問では、お住まいについて回答していただきましたが、例年は小平市内からの方が圧倒的に多いのですが、今回は雨天だったことが影響しているのかと思われそうですが、市外の方の割合が例年より高くなっております。

また、最後に全体的なご意見、ご感想も記述式で記入していただいております。その中の感想では、雨天で残念という感想の方がやはり多かったです。その他では、楽しかった。毎年楽しみにしているという意見の方も多く、「バスとタクシーのひろば」の継続を希望されている方も多くいらっしゃいました。また、雨の中でも開催していて良かったという方々も多く、雨の中でもやった甲斐があったと思えます。各事業者の皆様と、コミュニティタクシーを考える会等の市民の方々のご協力により、雨天の中でもお客さんに楽しんでいただけ、公共交通を皆様にPRすることができ、目的は果たせたものと感謝しております。誠にありがとうございました。「バスとタクシーのひろば in 小平 2017」の報告は以上になります。

続きまして、「バスとタクシーのひろば in 小平 2018」の開催についてご説明いたします。資料2をご覧ください。先程、今年度の「バスとタクシーのひろば in 小平 2017」のご報告をいたしました。ご来場の皆さまからの開催を継続するご意見も多いことから、来年度も引き続き、皆様からのご協力をいただきまして、「バスとタクシーのひろば in 小平 2018」を開催したいと

考えております。開催時期につきましては、5月の第3週目の土曜日の5月19日を第一候補に考えており、現在、会場候補地でありますブリヂストンさんと日程の調整をしております。内容につきましては、バスとタクシーの展示を基本として今後皆様と検討してまいりたいと考えております。来年度の開催につきまして、ご協議いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

会長

ただ今の「バスとタクシーのひろば in 小平 2017」の報告、「バスとタクシーのひろば in 小平 2018」の開催について、何かご意見、ご質問はございますか。

説明の中で、さかんに少なかった、少なかったと言っていました。900人という参加者の数というのは相当なものでして、この種のイベントで、しかも比較的コンパクトにやっているイベントとして900人集まったというのは、しかもあの天候で900人というのは、かなり相当なことだと思って良いことだとは思っています。

他に何かございますか。来年の開催の案につきましてはいかがですか。

では、この案の通りに進めるということではよろしいですか。

委員

(承認)

会長

では、この案の通りに進めさせていただき、計画をこれから練らせていただきますので、ぜひ、各社ご協力の程、よろしくお願いいたします。

それでは、続きまして協議事項「小平市コミュニティタクシー（大沼ルート及び鈴木町ルート）運行会社の事業分割に伴う変更について」事務局より説明をお願いします。

事務局

それでは、「小平市コミュニティタクシー（大沼ルート及び鈴木町ルート）運行会社の事業分割に伴う変更について」説明いたします。

資料3をご覧ください。現在、小平市コミュニティタクシーの大沼ルートと鈴木町ルートは、株式会社トーショーと「小平市コミュニティタクシー運行事業に関する協定」を締結し、運行事業を実施しております。どちらのルートにおいても1日の目標乗車人数70人を超えており、追走が必要な際は速やかに追走車を出すなど、運行事業者による良好な運行が行われております。

このたび、株式会社トーショーが事業を分割し、乗合交通に関する事業をトーショー交通株式会社に引き継ぐことになりました。そのため、小平市コミュニティタクシーの大沼ルートと鈴木町ルートの運行を、事業を引き継ぐトーショー交通株式会社に変更したいと思います。変更時期につきましては、事業分割による事業引き継ぎの手続きが終了しだい変更したいと思います。

なお、本日は地域公共交通会議の委員であります株式会社トーショーさんにご出席いただいておりますので、このことについて、補足等ございましたら、ご説明いただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

委員

説明資料としてカラー刷りの物を用意しました。弊社は創業以来54年の歴史がある会社なのですが、全国、関東圏を中心に中部、関西、四国、九州と現在20数拠点の営業所がある会社でございます。ただ、事業内容がトーショーのほとんどが、私のいる旅客事業部を除いては、貨物をやっている会社でして、その中で唯一1営業所だけが旅客事業部でコミュニティタクシーと小平市の高齢福祉の関係で高齢者を福祉会館に送迎するバス、それと某大手会社の朝夕の送迎バスをやっています。コミタク2ルートとバス2台。車両の方は、コミタクの予備車がございまして、車両6台と、小さな営業所が唯一旅客で運行しているという状況でございます。社内で組織が大きくなってきたものですから、関東圏のドライバーを集めたりする安全協議会等を弊社では何度も実施しているのですが、社内での事項が貨物のことに偏りがちな話ばかりになって、旅客の乗務員が出席しても貨物の話ばかりではないかという不満も以前から出ておりました。安全対

策に関する教育などもほとんどどうしても貨物のことを中心になりがちですので、営業所の方では点呼を始め、月に最低一度は安全協議会というのをやっており、そちらでは旅客の教育をしております。会社全体においては、どうしても貨物のことに流れがちというのを、責任者としてずっと感じてきたところでした。そういった経緯もありまして、さらにはタクシー会社のトーショー交通という別会社のグループ会社がございますので、手前勝手な社内の事情ではございますが、旅客と貨物を会社としても完全に分割してしまおうと、その方が安全にとってもプラスなのではないかと、社内の役員会で議決がございました。この会で認めていただければ、旅客の方を今まで担当しているトーショー交通というタクシー会社がございますので、そちらの方でコミタクの2ルートもさせていただければということでございます。

会長

それでは、ただ今、運行会社に説明していただきました。ご質問等はございますか。

委員

一つ良いでしょうか。地域の皆様にとっては営業所を移転するわけでもございませんので、今、鈴木町に営業所がございますが、外から見れば社名がトーショーからトーショー交通に変わる程度の変更しか見えないと思います。営業所も同じですし、運行するドライバーも当面は同じで、逆にちょっと若返りを図りたいと思っています。今、高齢ドライバーになっていますので、70歳とか70歳に近くなっていますので、せめて50歳代位に変更しようかと思っていますが、ドライバーも現状変わりませんし、営業所も変わりませんし、運行管理者も変わりません。体制としては何も変わらないです。利用者の方から見れば、社名が変わった程度という感じです。

会長

では、何かご質問等がございますか。

それでは、特にないようですので、この件に関しましては、ご説明のとおり、コミュニティタクシー大沼ルートと鈴木町ルートにつきましては、今まで株式会社トーショーが運営されていた。会社組織の変更によって、今度は同じ体制ですけれどもトーショー交通株式会社が運行するという、こういう形に変更するという事で問題ありませんでしょうか。

委員

(承認)

会長

それでは、地域公共交通会議で同意を得ましたので、そのように進めさせていただきたいと思っております。

それでは、続きまして報告事項「小平市コミュニティバス、コミュニティタクシーの利用状況について」事務局より説明をお願いします。

事務局

「コミュニティバス、コミュニティタクシーの利用状況について」報告いたします。

資料4が3点ございます。一つ目の資料は、「にじバス」の乗車実績です。平成15年度から29年12月までの月ごとの乗車人数と一日平均乗車人数を示しております。

二つ目は、「ぶるべー号」の乗車実績です。「にじバス」の資料と同様に各ルートの平成21年度からの29年12月までの乗車状況を同様に示しております。

利用状況の傾向をご説明いたします。三つ目のグラフを記載した資料をご覧ください。左側二つのグラフは「にじバス」の年度ごとの推移です。運賃の改定のあった平成19年度以降は、年間で25万人程度、一日平均で600人台(650~660人程度)と安定しております。今年度も12月末まで一日平均は674.4人と近年では乗車の多かった27年度を上回る程度の乗車がありますが、安定した乗車をいただいております。

右側のグラフは、ぶるべー号の各ルートの推移をそれぞれ3本の線で示しております。右上の

グラフからどのルートもほぼ右肩上がりです。乗車を伸ばしている状況がわかります。コミュニティタクシーは一日平均の乗車人数 70 人以上を目標にしておりますが、28 年度は 3 ルート全てがこの目標を達成しております。28 年度の各ルートは栄町ルートが、若干下がったものの依然として一日平均 100 人以上の乗車があり、定員を超えた際の追走車両が年間 70 回、週に 1~2 回程度、運行しております。

大沼ルートは、27 年度から一日平均乗車人数が 90 人台を維持しており堅調といえます。鈴木町ルートは、28 年度に一日平均乗車人数が 76.3 人と目標に達しました。29 年度も更に増加傾向にあり、コミュニティタクシーそれぞれの地域において住民の方々の交通手段としての認識が広がっていると思います。利用状況の説明については以上です。

会長

ただ今の報告について、何かご質問、あるいはお気づきの点などありますか。

非常に良く推移していると、意見が少ないですね。

それでは特になさうですので、利用状況についての報告は以上とさせていただきます。

なお、コミュニティタクシーについて、100 名超えとか 90 名という数字が出てきましたが、これは乗合タクシーとして全国で運行している中では、たぶんトップクラスの実績になると思います。だいたい一般的には、1 日あたり 40 人位乗っていると乗合タクシーとしては結構な実績と言えると思います。ただ、便数を出していますので、それでプラスの部分があるとしても、やはり 100 人の大台に乗るといえるのは乗合タクシーとしては異例のケースと言えるかもしれません。それだけやはり、地元もかなり一生懸命やり、利用促進も熱心にやってくられて、ニーズにあった運行をしているということの裏返しだと思いますけれども、今後おそらく追走便の問題などが出てくる可能性もありますので、また注視をしながら今後に向けていろいろ改善をしていければと思いますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

それでは、続きまして、報告事項「小平市コミュニティタクシー大沼ルートの停留所移設について」説明をお願いします。

事務局

それでは、「コミュニティタクシー大沼ルートの停留所移設について」報告いたします。

資料 5 をご覧ください。大沼ルートの昭和病院の次の停留所「武田歯科前」ですが、隣接していた「武田歯科医院」がしばらく休業しており、昨年、建物を取り壊し新たな住宅 2 棟が建設されることとなりました。この住宅には駐車場がそれぞれ予定されており、車両の出入りとして停留所が支障になるということで移設を行うこととなりました。

移設先は近隣を検討しましたが、住宅の出入り口になることや、隣接する土地の所有者から承諾を得られないことがあり、約 200m 北側へ移設することといたしました。

新たな停留所名は「野中通り」とし、昨年 11 月 20 日から運用を開始しております。

停留所や車内には事前に移設のお知らせを掲示しました。近隣の住宅には職員でチラシをポスティングしました。また、コミュニティタクシーの乗務員からも変更する停留所を利用される方へ声かけをしていただきましたので、運用開始後は特に混乱、お問合せ等はございませんでした。新しい停留所は特に問題なく利用いただけていると思います。コミュニティタクシー大沼ルートの停留所移設の報告は以上です。

会長

何かご質問等ございますか。

ないようでしたら、続きまして、報告事項 6「小平市コミュニティタクシーを考える会の報告」について事務局より説明をお願いします。

事務局

それでは、まず、「コミュニティタクシー大沼ルートの停留所新設及びルート変更の検討について」報告いたします。

資料 6 をご覧ください。こちらは今、「コミュニティタクシーを考える会」の中で検討しているルートになります。大沼ルートは大沼町 7 丁目にございます都営住宅の都営大沼町 1 丁目アパー

ト内を運行しております。団地内には二棟の高齢者住宅のシルバーピアがありまして、この付近に停留所を増設し、より利便性を高めて欲しいという要望がございました。資料の地図では下の方にある15号棟、20号棟にシルバーピアが合わせて50室ございます。また、こちら青い線で示しております現行ルートですけれども、こちらは重複して走行する部分があり、お客様から遠回り感があると、こういったことも課題になっておりました。

これらの要望と課題を考える会で検討を行うにあたっては、団地住民へ交通に関するアンケート調査を実施しました。また、自治会長、シルバーピアの生活協力員等からヒアリングを実施し地域の意見やニーズをまとめて参考にいたしました。

そのうえで検討をすすめ、新設停留所と変更ルートがこの資料の案のように作成いたしました。青い線が現行の昭和病院から小平駅へ向かうルートです。赤い線を今回想定ルートとし、黄色の七小東公園の南側、地図では下の方になるのですが、こちらに新たな停留所を設けることとしています。

このルートでは、先程申し上げました15号棟、20号棟のシルバーピアに居住する高齢者も停留所が近く利便性が高まります。また、アンケートやヒアリングから、七小東公園の西側、向かって左側にあるのですが、18号棟から20号棟と公園の間の道路は、公園を利用する子どもの横断が頻繁にあるとアンケート等から意見があり、安全面を考慮し、今回、運行ルートから外しています。

それから、現行ルートの課題となっておりました東京街道を重複して走行すること、この資料では真ん中の上の部分に重複部分と青い線が二重になっているところですが、今回の変更でこちらの解消も図っています。

今回の案は、考える会で概ね了承されておりますが、今後は都営住宅であることから管理する東京都都市整備局の担当部署と停留所の実際の位置の調整や、交通管理者と運行に関する調整を行い、さらに考える会での協議をすすめまして、来年度また改めてこの会議でお諮りいただき、運行の変更を行いたいと考えております。

「コミュニティタクシー大沼ルートの停留所新設及びルート変更」の報告は以上です。

事務局

続きまして、「小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会の進捗状況について」説明いたします。

昨年1月の小平市地域公共交通会議の際にもご説明しておりますが、市の南西部地域においては、平成28年5月に「小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会」を組織し、月1回程度、市民の方々と協働でルート検討をしております。

考える会では、今まで地域の方々へ生活交通に関するアンケートを行ったり、南西部地域の公共交通の現状についてワークショップを行ったりしながら、ルート検討をまいりました。すでに21回の会議を行っており、このたび、資料7、資料8の2ルートの案に絞られてきました。この南西部地域は、西武国分寺線を境に東西で生活圏が違うため、鷹の台駅の西側のルートと鷹の台駅の東側であります上水本町ルートの2ルートが提案されました。

資料7の方は、鷹の台駅西側を中心としたルート案です。鷹の台駅を起点とし、玉川上水南側の上水新町内を通り、小川町一丁目地域を経由して鷹の台駅に戻るルートです。ルート上には商店街や病院、公共施設などがあり、住民の要望が高い場所に行くことができます。停留所は17ヶ所を予定しています。一方で、①～③の箇所についての道路幅員等に課題があるため、現在運行に向けて、警視庁と調整をしております。

もうひとつは、資料8の上水本町ルート案です。鷹の台駅の東側の中央公園を起点として、上水本町内を通り、一橋学園駅の南側ロータリーで折返し、上水本町内を再び通るルートです。停留所は17ヶ所を予定しています。こちらのルートは鷹の台駅と一橋学園駅の2つの駅を利用できることや、行きと帰りに利用できることが特徴で、ルート上には病院、公共施設などがあります。道路幅員は問題ないと思われませんが、停留所の位置など、こちらのルートにつきましても現在、警視庁と調整中です。

どちらのルートも1周30分、1日19便程度を予定しています。

今後の予定ですが、警視庁との調整を進めながら、同時並行で運行事業者を決めたいと考えています。運行事業者については今までと同様に、プロポーザル方式により決定します。現在3月

初旬には運行事業者が決定できるよう準備を進めています。

この2つのルート案につきましては、まだ課題等がございますので、今回は考える会で提案されたルート案についての報告とさせていただきます。警視庁との調整や本日この会議でいただきましたご意見等を踏まえ、考える会において、引き続き運行に向けて検討を行いたいと考えております。今後、運行事業者の決定、警察の実地調査が終了いたしましたら、地域公共交通会議で協議をお願いすることとなりますので、その際はよろしく申し上げます。

「小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会の進捗状況について」の報告は以上です。

会長

それでは、大沼ルートの停留所新設及びルート変更と南西部地域コミュニティタクシーを考える会で今検討していただいている新たなルートについて説明していただきましたが、これについてご意見、ご質問等ございますか。

委員

小平警察ですが、今説明がありました鷹の台駅西側ルート、上水本町ルートの案ですが、何案か出された中でこの形にだんだん決まっていきました。ただ、先程言われた通り問題点が残っており、そういうところを検討していかないといけません。市内の他を走っているルートと違いまして、かなり狭い道路を走らせるということで、事務局もいろいろ案を出している状況でありますので、地元警察としましても、できれば通せるようにということで考えているのですが、なかなか問題が複雑なものですから、そここのところをご了承いただきたいと思います。ただ、地元警察としては、やはりいろいろな面で、社会の中で通した方が良いなと考えてはおりますので、これからもご協力よろしくお願ひいたします。

会長

他にはいかがでしょうか。

委員

西武バスですが、鷹の台西側ルート、上水本町ルートいずれも路線バスと一部かぶるところがあるのですが、今回バス停の設置等につきましては、路線バスの影響を考慮して検討していただいておりますので、ぜひこのようなかたちで進めていただきたいと思います。

会町

他にはいかがでしょうか。

委員

鷹の台西側ルートは、パッと見ると、かなりくねくねしている状態で、安全ということはもちろんあるのですが、運行される運転手さんが当然いらっしゃって、狭い道などをいろいろ曲がりだすと非常に負担がかかるというのが心配ではあります。警察とも充分協議されているということですので、その辺も踏まえて、こういう複雑なルートということですので、ルートを検討するには運行の安全を充分考えていただけたらと思います。

それと、大沼ルートの停留所新設とルート変更の案ですが、青い線の現行ルートの重複部分を解消するということが、変更ルートについての下の部分をぐるっと周っているのも重複するのかもしれないのですが。先程説明の中で、公園の左側の通りはお子様の横断がかなりあるので、これを回避してということで理解したのですが、逆に18号棟から20号棟の左側のルートを選択することは可能なかどうかをお聞きしたいです。そうすれば、重複するというにはならないのではないかと思います。これが重複に見えるので、重複を解決するというのでは、そのルートも可能なのかということをお聞きしたいです。

事務局

ただいまご質問いただきましたルートの件ですが、18号棟から20号棟の左側、七小通りと言

いますが、こちらを通るルートも考えられるのですが、ここを通過してしまうと、青い丸で示しております「大沼公民館・図書館」停留所を通らなくなります。この停留所は、大沼ルートの中で三番目位に利用の多い停留所です。ご指摘いただきました七小通りの方を通りますと、ここを通らなくなってしまうということが一つあります。また、1号棟から3号棟辺りの自治会長から、この停留所を残して欲しいとご要望もありました。

それと、この地図の左下の斜めに茶色の線が二本ございますが、ここは西武新宿線になりまして、先程の七小通りを通りますと、21号棟の下の箇所でかなり踏切に近くなり、運行する際に踏切の影響を受けるのではないかと等いくつか念頭に置きまして、このルートにしています。今回このルートで重複にもなりますけれども、今までの重複部分というのは同じ方向に向いて重複するものですから、今回は通常の路線バスのように行ってまた帰るといような重複になるかなというところで、まだまだこれは検討案というところですので、いろいろなご意見を参考にして進めたいと思っております。

会長

他にはいかがでしょうか。

私から1点確認ですけれども、大沼ルートのルート変更は、今度は行きも帰りもこの赤いルートで走るといことよろしいですか。

事務局

行きは、この資料の中では示していないのですが、行きは現行通りのルートで。この七小東公園の南側の所は今のところルートに入っていない状況です。

会長

いわゆる飛び出しの部分は、昭和病院から戻ってくる方だけですか。

事務局

はい、そうです。

会長

他にはいかがでしょうか。

特によろしいようでしたら、今後また考える会でさらにつめていただいて、最終的には変更なり新設をこの会議で皆さんの同意を得てから進めることとなりますので、その段階でまた、タイミングによっては、それより前に中間報告をしてもらうことになるかもしれませんが、最終的にはこの会議で同意をとるかたちとなりますので、よろしくお願いいたします。

報告事項については以上ですね。それでは、その他、何かございますか。皆さんから何かございますか。

それでは特になければ、これで全ての議題は終了となります。

熱心なご議論、ありがとうございました。

以上で、平成29年度 第1回小平市地域公共交通会議を閉会します。